

4 地域別雇用者数

道内すべての圏域において、新規求職申込件数が前年から減少し、新規求人数が増加したことにより有効求人倍率が上昇している。

職種別でみると、全圏域において「事務的職業」を希望する求職者が多い一方、「介護サービスの職業」「接客・給仕の職業」、「生産工程の職業」、「建設躯体工事・建設」などは、有効求人倍率が高く。業種別でも、全圏域において「医療・福祉」分野は、最も大きな雇用の受け皿であり未充足数が多いほか、「建設業」においては、すべての圏域において、充足率が他の業種に比べ低く、特に人材確保が困難となっている。

(1) 検討の方法について

北海道労働局の雇用関連統計をもとに、平成27年度の道内各ハローワークごとの、①新規求職申込件数(常用)と②就職件数、③新規求人数(常用)と④紹介斡旋により充足に至った件数、⑤有効求人倍率などについて整理を行った。

上記整理データを、ハローワーク所在地ごとに「札幌圏と札幌圏外」及び「6圏域別」の区分でそれぞれ整理し、比較を行った。

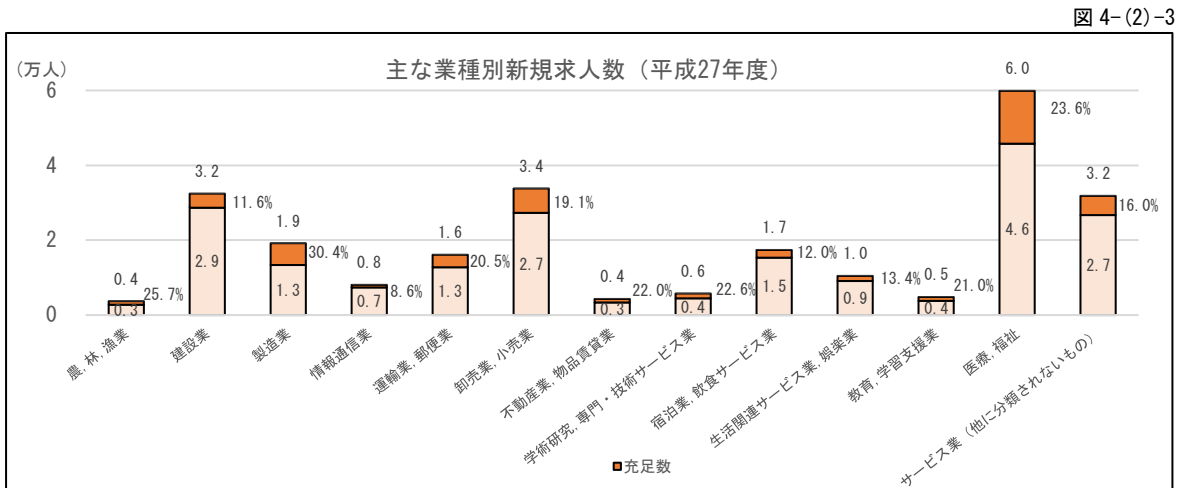
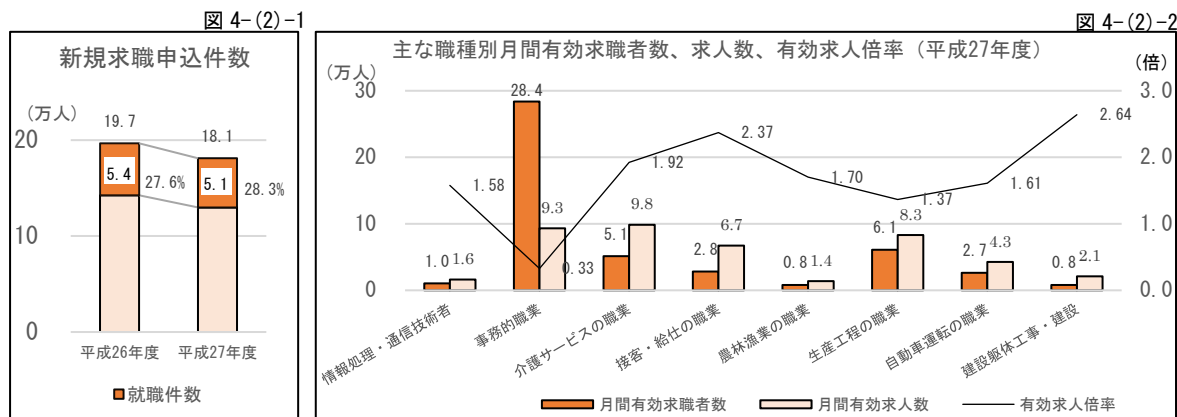
(2) 全体の概要

平成27年度の新規求職申込件数は、前年度比91.2%の約18万1千件、就職率は前年度から0.7ポイント上昇の28.3%となっている。(図4-(2)-1)

平成27年度の主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、事務的職業で、有効求職者数28万4千人に対して、有効求人数が9万3千人で有効求人倍率が0.33倍となっている一方、接客・給仕の職業では、有効求職者数が2万8千人に対して、有効求人数が6万7千人で有効求人倍率が2.37倍と、職種のミスマッチがある。(図4-(2)-2)

一方、業種別の新規求人数では、医療・福祉分野で6万人の新規求人数があり、充足率は23.6%で未充足の求人は4万6千人となったほか、卸売業、小売業では新規求人数が3万4千人、充足率は19.1%で未充足の求人は2万7千人、建設業では新規求人数が3万2千人、充足率は11.6%で未充足の求人は2万9千人となっている。(図4-(2)-3)

平成27年度「全道」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)



月間有効求職者数 (対前年度比)	61,918 (92.7%)	月間有効求人数 (対前年度比)	59,058 (105.3%)	有効求人倍率 (前年度)	0.95 (0.84)
---------------------	-------------------	--------------------	--------------------	-----------------	----------------

(3) 「札幌圏(※1)と札幌圏外」の比較

新規求職申込件数を見ると、札幌圏は前年度比92.2%の約8万3千件、札幌圏外は前年度比92.0%の約9万8千件で、両圏域とも前年に比べ減少している。

就職については、札幌圏は、就職件数が前年度比95.8%の約1万8千件、就職率は前年度比から0.9ポイント増の22.0%となっている。また、札幌圏外は、就職件数が前年度比93.9%の約3万3千件、就職率は前年度比0.7ポイント増の33.7%となっており、両圏域とも新規就職申込件数は減少しているが、就職率はほぼ前年度並みとなっている。また、札幌圏と札幌圏外の就職率の差は11.7ポイントあり、札幌圏の就職率の低さが特徴となっている。(図4-(3)-1・4-(3)-5)

主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、札幌圏においては、事務的職業で、有効求職者数14万4千人に対して、有効求人数が5万1千人で有効求人倍率が0.36倍となっている一方、介護サービスの職業では、有効求職者数が2万人に対して、有効求人数が4万8千人で有効求人倍率が2.14倍、接客・給仕の職業では、有効求職者数が1万1千人に対して、有効求人数が2万8千人で有効求人倍率が2.11倍となっており、札幌圏外においては、事務的職業で、有効求職者数14万人に対して、有効求人数が4万2千人で有効求人倍率が0.30倍、介護サービスの職業では、有効求職者数が3万1千人に対して、有効求人数が5万6千人で有効求人倍率が1.78倍、接客・給仕の職業では、有効求職者数が1万7千人に対して、有効求人数が4万4千人で有効求人倍率が2.53倍となっており、接客・給仕の人手不足が札幌圏外で特に顕著となっている。(図4-(3)-2・4-(3)-6)

業種別の新規求人においては、札幌圏では、医療・福祉分野で2万6千人の新規求人があり、充足率は21.6%で未充足の求人は2万人となったほか、サービス業(他に分類されないもの ※2)で新規求人が2万人、充足率は13.2%で未充足の求人は1万8千人、卸売業・小売業で新規求人が1万7千人、充足率は15.9%で未充足の求人は1万4千人となっている。また、札幌圏外では、医療・福祉分野で3万4千人の新規求人があり、充足率は24.9%で未充足の求人は2万6千人となったほか、建設業で新規求人が2万人、充足率は11.6%で未充足の求人は1万8千人、卸売業・小売業で新規求人が1万7千人、充足率は22.4%で未充足の求人は1万3千人となっており、両圏域とも、医療分野における未充足の求人が最も多いが、札幌圏では「サービス業(他に分類されないもの)」、札幌圏外は「建設業」の未充足の求人が多い状態となっている。(図4-(3)-3・4-(3)-7)

有効求人倍率は、札幌圏が前年度比0.10ポイント上昇の0.93倍、札幌圏外が前年度比0.12ポイント上昇の0.97倍となり、札幌圏外が札幌圏を上回る状況が続いている。(表4-(3)-4・4-(3)-8)

※1 札幌圏：札幌、札幌北、札幌東の3ハローワーク管轄区域。

札幌市のほか、石狩市(浜益区を除く)、当別町、新篠津村、北広島市、江別市が含まれる。

※2 サービス業(他に分類されないもの)には、「ビルメンテナンス業」「警備業」などが含まれる。

平成27年度「札幌圏」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)

図 4-(3)-1

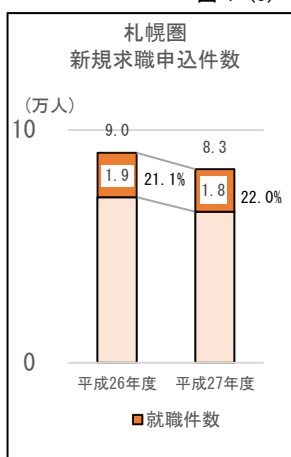


図 4-(3)-2

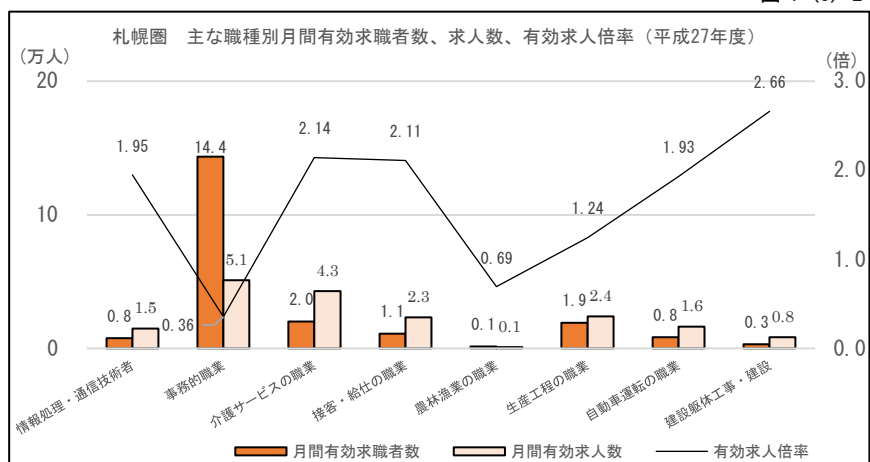


図 4-(3)-3

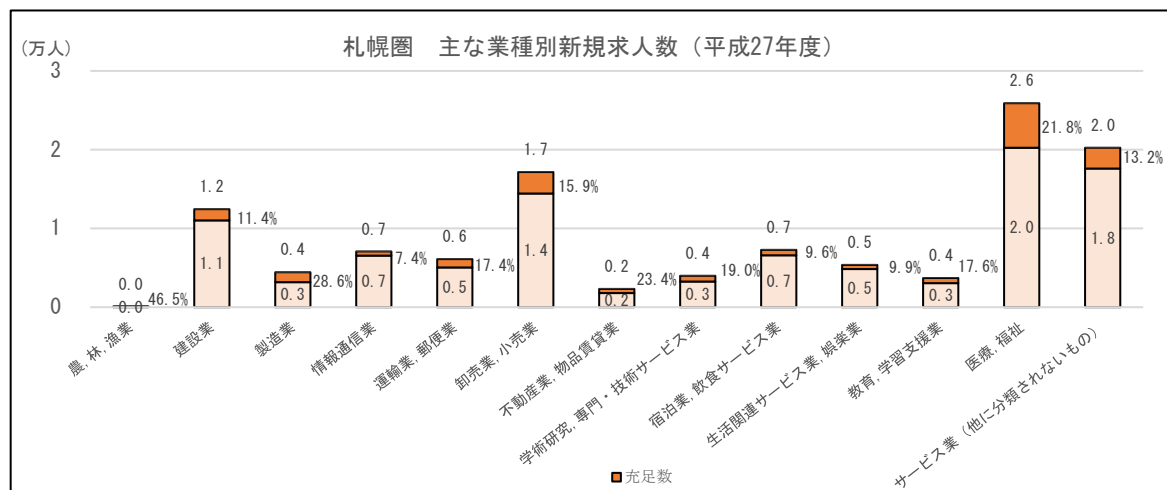


表 4-(3)-4

月間有効求職者数 (対前年度比)	29,628 (93.5%)	月間有効求人数 (対前年度比)	27,624 (105.2%)	有効求人倍率 (前年度)	0.93 (0.83)
---------------------	--------------------	--------------------	---------------------	-----------------	-----------------

平成 27 年度「札幌圏外」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況 (パート除く常用)

図 4-(3)-5

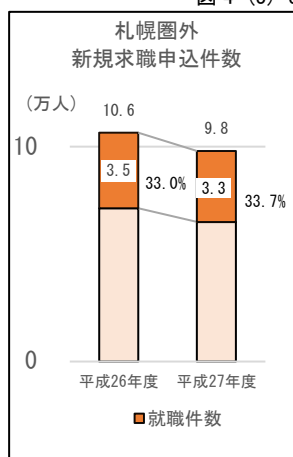


図 4-(3)-6

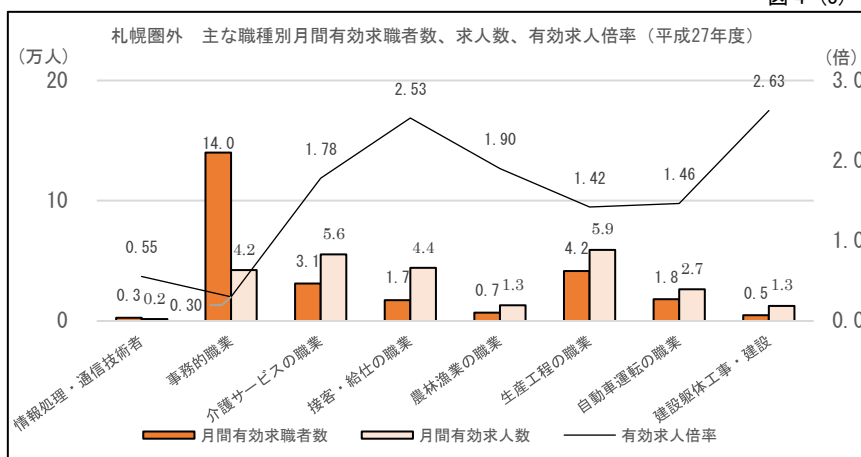


図 4-(3)-7

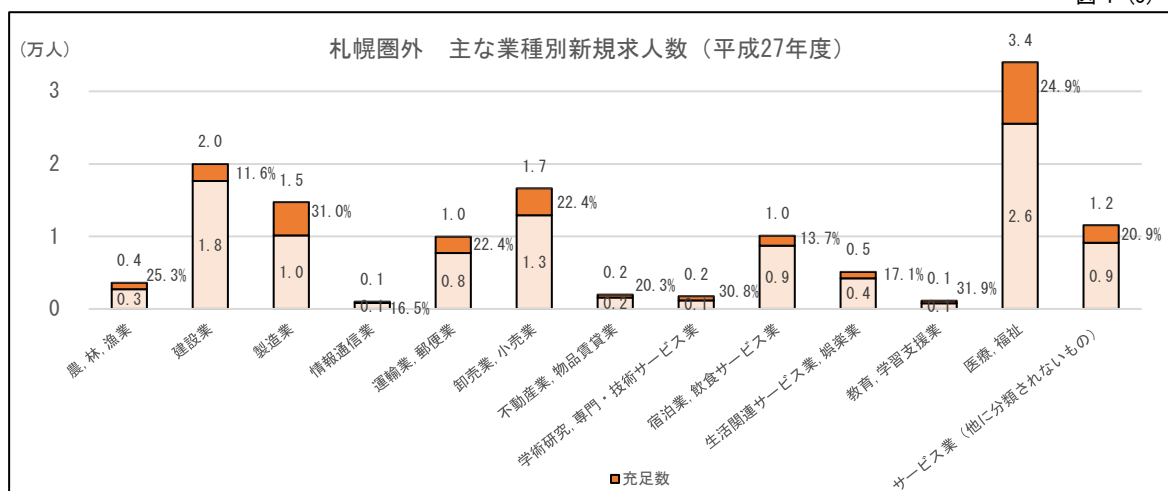


表 4-(3)-8

月間有効求職者数 (対前年度比)	32,289 (92.1%)	月間有効求人数 (対前年度比)	31,434 (105.5%)	有効求人倍率 (前年度)	0.97 (0.85)
---------------------	--------------------	--------------------	---------------------	-----------------	-----------------

(4)「6圏域別」の分析

ア 道央圏

平成27年度の新規求職申込件数は、前年度比91.6%の約12万件、就職率は前年度から1.0ポイント上昇の26.1%となっている。(図4-(4)-ア-1)

平成27年度の主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、事務的職業で、有効求職者数19万4千人に対して、有効求人数が6万6千人で有効求人倍率が0.34倍となっている一方、接客・給仕の職業で、有効求職者数が1万8千人に対して、有効求人数が4万人で有効求人倍率が2.26倍、介護サービスの職業で有効求職者数が3万2千人に対して、有効求人数が6万2千人で有効求人倍率が1.93倍と、職種のミスマッチがある。(図4-(4)-ア-2)

一方、業種別の新規求人では、医療・福祉分野で3万9千人の新規求人があり、充足率は22.9%で未充足の求人は3万人となったほか、サービス業(他に分類されないもの)で新規求人が2万4千人、充足率は14.6%で未充足の求人は1万8千人、卸売業、小売業で新規求人が2万2千人、充足率は18.0%で未充足の求人は1万8千人、建設業では新規求人が2万1千人、充足率は11.4%で未充足の求人は1万9千人となっている。(図4-(4)-ア-3)

平成27年度「道央圏」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)

図4-(4)-ア-1

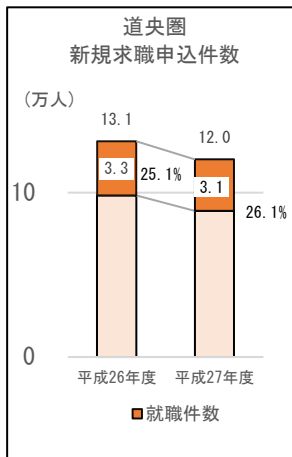


図4-(4)-ア-2

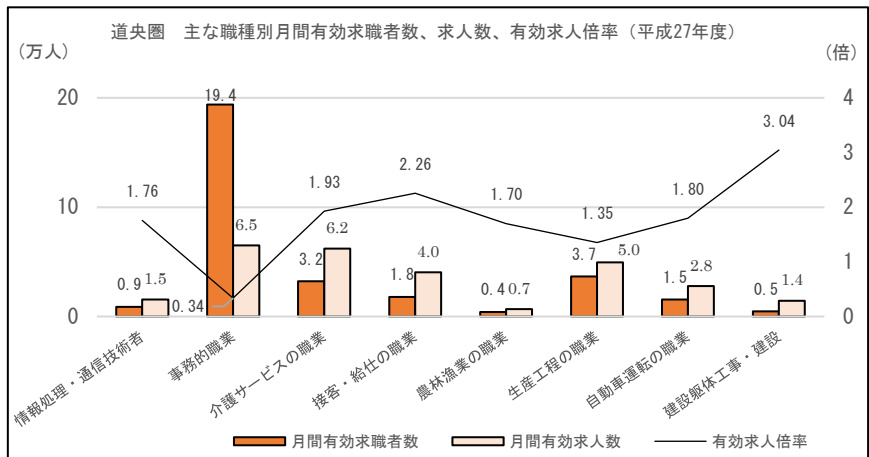


図4-(4)-ア-3

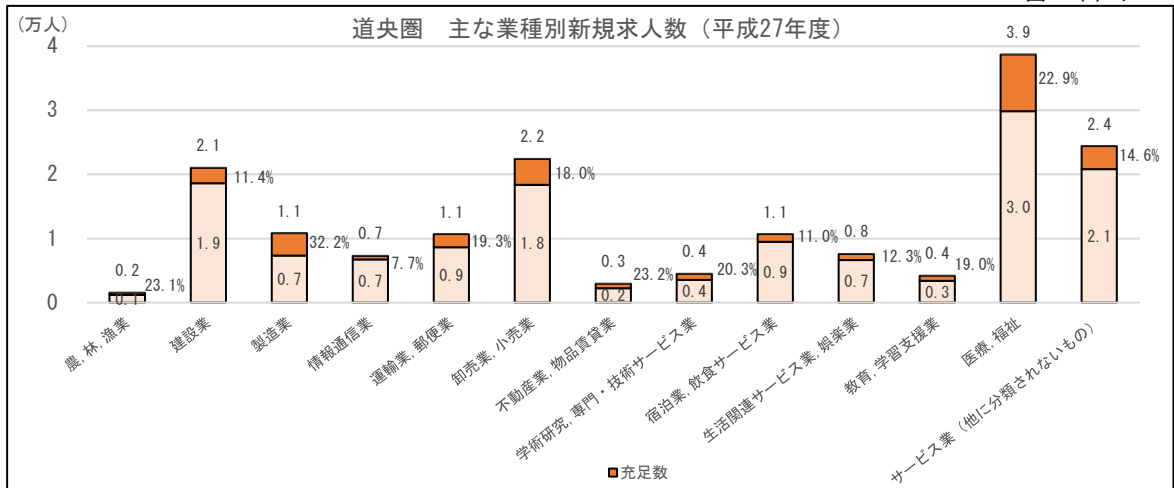


表4-(4)-ア-4

月間有効求職者数 (対前年度比)	41,707 (92.6%)	月間有効求人数 (対前年度比)	39,728 (105.5%)	有効求人倍率 (前年度)	0.95 (0.84)
---------------------	-------------------	--------------------	--------------------	-----------------	----------------

イ 道南圏

平成27年度の新規求職申込件数は、前年度比92.2%の約1万6千件、就職率は前年度から1.6ポイント上昇の31.8%となっている。(図4-(4)-イ-1)

平成27年度の主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、事務的職業で、有効求職者数2万3千6百人に対して、有効求人数が5千9百人で有効求人倍率が0.25倍となっている一方、接客・給仕の職業で、有効求職者数が3千人に対して、有効求人数が7千2百人で有効求人倍率が2.40倍、建設躯体工事・建設で有効求職者数が1千人に対して、有効求人数が2千人で有効求人倍率が1.96倍、介護サービスの職業で有効求職者数が5千7百人に対して、有効求人数が8千6百人で有効求人倍率が1.50倍と、職種のミスマッチがある。(図4-(4)-イ-2)

一方、業種別の新規求人では、医療・福祉分野で5千4百人の新規求人があり、充足率は25.2%で未充足の求人は4千人となったほか、卸売業、小売業で新規求人が3万3千人、充足率は18.2%で未充足の求人は2万7百人、建設業で新規求人が3千3百人、充足率は11.4%で未充足の求人は2千9百人、製造業で新規求人が2千3百人、充足率は28.7%で未充足の求人は1千6百人、情報通信業で新規求人が0.3千人、充足率は12.1%で未充足の求人は0.3千人、運輸業・郵便業で新規求人が1.2千人、充足率は26.5%で未充足の求人は0.9千人、不動産業・物品賃貸業で新規求人が0.2千人、充足率は21.9%で未充足の求人は0.2千人、学術研究・専門・技術サービス業で新規求人が0.2千人、充足率は31.7%で未充足の求人は0.1千人、宿泊業・飲食サービス業で新規求人が2.0千人、充足率は14.8%で未充足の求人は1.7千人、生活関連サービス業・娯楽業で新規求人が0.8千人、充足率は12.3%で未充足の求人は0.7千人、教育・学習支援業で新規求人が0.1千人、充足率は36.2%で未充足の求人は0.1千人、サービス業(他に分類されないもの)で新規求人が1.9千人、充足率は22.2%で未充足の求人は1.4千人となっている。

平成27年度「道南圏」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)

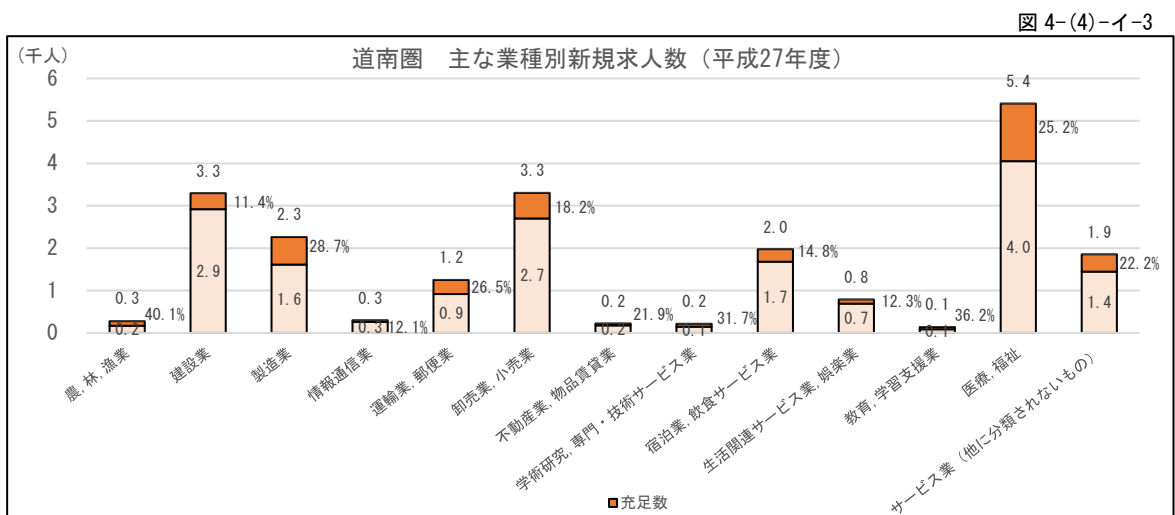
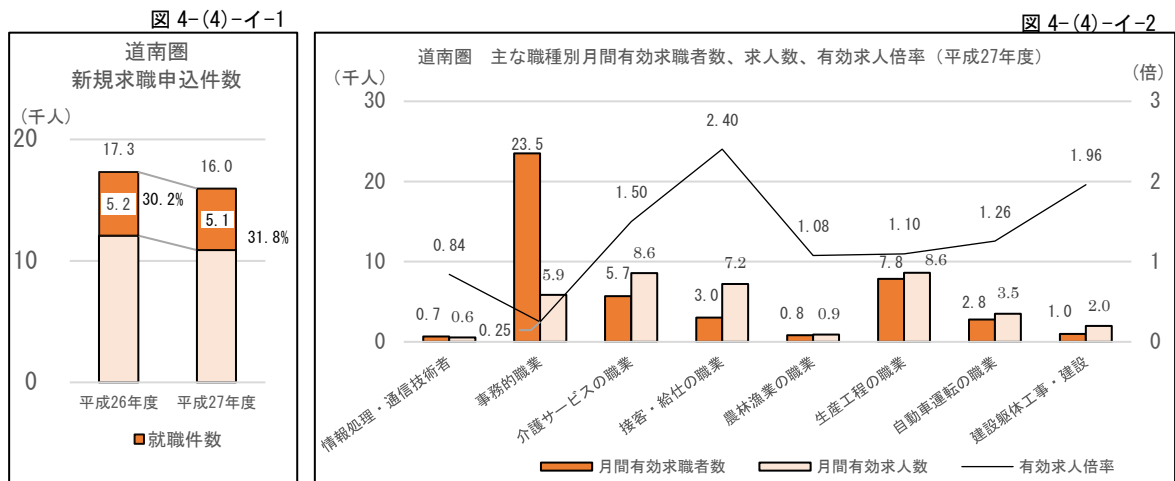


表4-(4)-イ-4

月間有効求職者数 (対前年度比)	5,550 (93.2%)	月間有効求人数 (対前年度比)	4,906 (101.7%)	有効求人倍率 (前年度)	0.88 (0.81)
---------------------	------------------	--------------------	-------------------	-----------------	----------------

ウ 道北圏

平成27年度の新規求職申込件数は、前年度比94.6%の約1万6千5百件、就職率は前年度から0.7ポイント低下の33.6%となっている。(図4-(4)-ウ-1)

平成27年度の主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、事務的職業で、有効求職者数2万4千9百人に対して、有効求人数が9千7百人で有効求人倍率が0.39倍となっている一方、接客・給仕の職業で、有効求職者数が2千4百人に対して、有効求人数が6千1百人で有効求人倍率が2.58倍、介護サービスの職業で有効求職者数が5千2百人に対して、有効求人数が1万2千4百人で有効求人倍率が2.38倍、建設躯体工事・建設で有効求職者数が9百人に対して、有効求人数が1千8百人で有効求人倍率が2.06倍と、職種のミスマッチがある。(図4-(4)-ウ-2)

一方、業種別の新規求人では、医療・福祉分野で6千2百人の新規求人があり、充足率は25.4%で未充足の求人は4千7百人となったほか、建設業で新規求人が3千5百人、充足率は10.7%で未充足の求人は3千1百人、サービス業(他に分類されないもの)で新規求人が2千8百人、充足率は17.9%で未充足の求人は2千3百人、卸売業、小売業で新規求人が2千6百人、充足率は22.0%で未充足の求人は2千0百人、製造業、物品賃貸業で0.3百人、充足率は19.6%で未充足の求人は0.2百人、宿泊業、飲食サービス業で0.4百人、充足率は26.0%で未充足の求人は1.4百人、生活関連サービス業、娯楽業で0.5百人、充足率は15.3%で未充足の求人は3.2百人、教育、学習支援業で0.2百人、充足率は32.2%で未充足の求人は0.4百人、農、林、漁業で0.4百人、充足率は28.2%で未充足の求人は1.0百人、建設業で3.5千人、充足率は10.7%で未充足の求人は3.1千人、製造業で2.2千人、充足率は27.5%で未充足の求人は1.6千人、情報通信業で0.1千人、充足率は23.1%で未充足の求人は0.4千人、運輸業、郵便業で1.5千人、充足率は21.4%で未充足の求人は1.2千人、卸売業、小売業で2.6千人、充足率は22.0%で未充足の求人は2.0千人、不動産業、物品賃貸業で0.3千人、充足率は19.6%で未充足の求人は0.2千人、学術研究、専門・技術サービス業で0.4千人、充足率は26.0%で未充足の求人は1.4千人、宿泊業、飲食サービス業で0.5千人、充足率は15.3%で未充足の求人は3.2千人、生活関連サービス業、娯楽業で0.2千人、充足率は32.2%で未充足の求人は0.4千人、医療、福祉で6.2千人、充足率は25.4%で未充足の求人は4.7千人、サービス業(他に分類されないもの)で2.8千人、充足率は17.9%で未充足の求人は2.3千人

平成27年度「道北圏」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)

図4-(4)-ウ-1

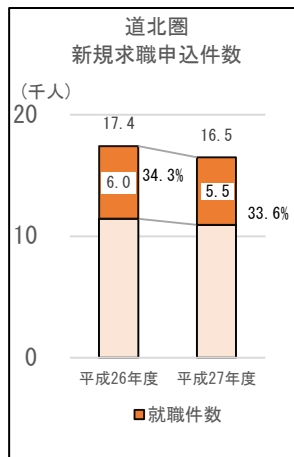


図4-(4)-ウ-2

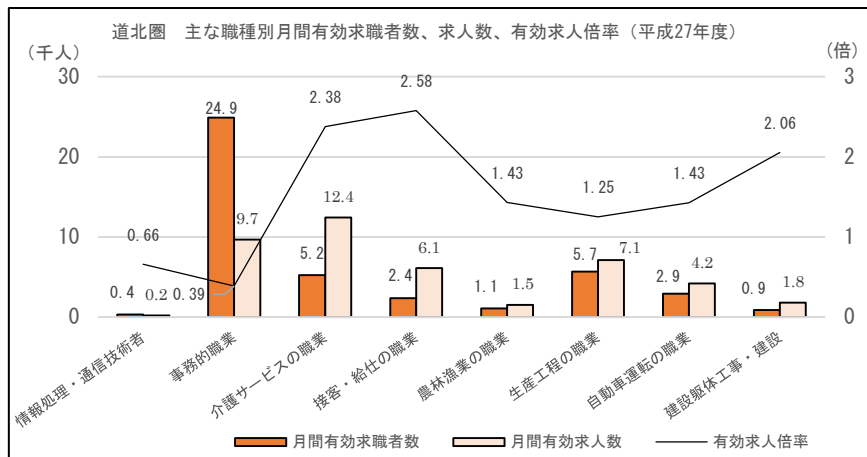


図4-(4)-ウ-3

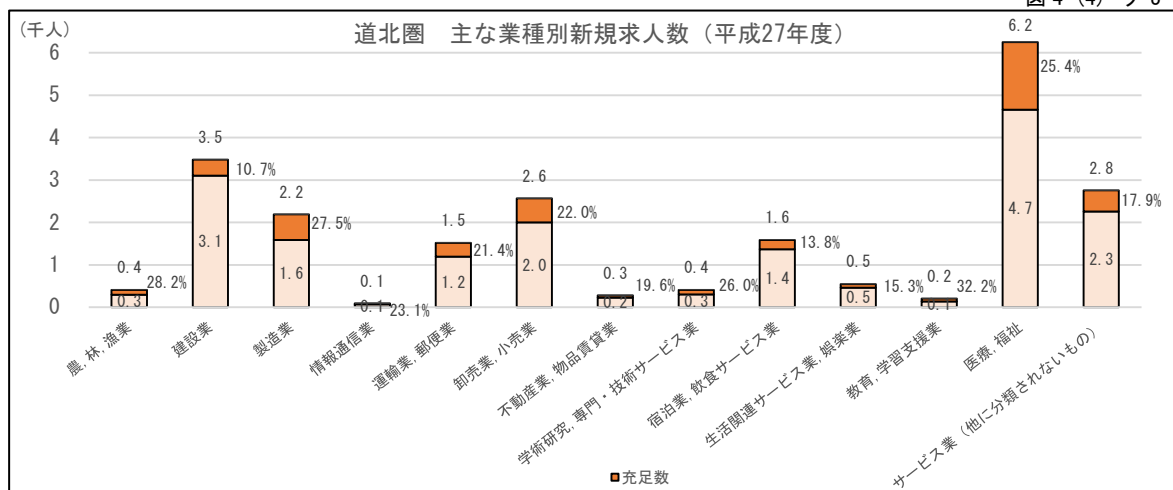


表4-(4)-ウ-4

月間有効求職者数 (対前年度比)	5,485 (91.8%)	月間有効求人数 (対前年度比)	5,437 (104.4%)	有効求人倍率 (前年度)	0.99 (0.87)
---------------------	------------------	--------------------	-------------------	-----------------	----------------

エ オホーツク圏

平成27年度の新規求職申込件数は、前年度比94.2%の約7千9百件、就職率は前年度から2.0ポイント上昇の36.1%となっている。(図4-(4)-エ-1)

平成27年度の主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、事務的職業で、有効求職者数1万8百人に対して、有効求人数が2千9百人で有効求人倍率が0.27倍となっている一方、介護サービスの職業で有効求職者数が2千5百人に対して、有効求人数が5千9百人で有効求人倍率が2.37倍、接客・給仕の職業で、有効求職者数が1千9百人に対して、有効求人数が4千4百人で有効求人倍率が2.30倍と、職種のミスマッチがある。(図4-(4)-エ-2)

一方、業種別の新規求人では、医療・福祉分野で3千人の新規求人があり、充足率は24.7%で未充足の求人は2千3百人となったほか、卸売業、小売業で新規求人が1千3百人、充足率は28.7%で未充足の求人は1千人、建設業で新規求人が1千2百人、充足率は14.5%で未充足の求人は1千人、製造業で新規求人が1千1百人、充足率は29.7%で未充足の求人は8百人となっている。(図4-(4)-エ-3)

平成27年度「オホーツク圏」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)

図4-(4)-エ-1

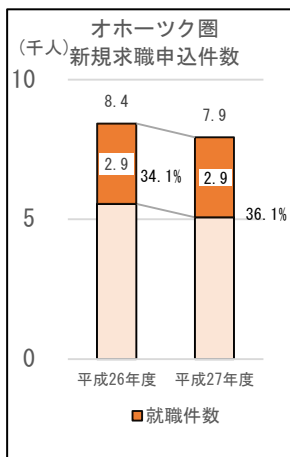


図4-(4)-エ-2

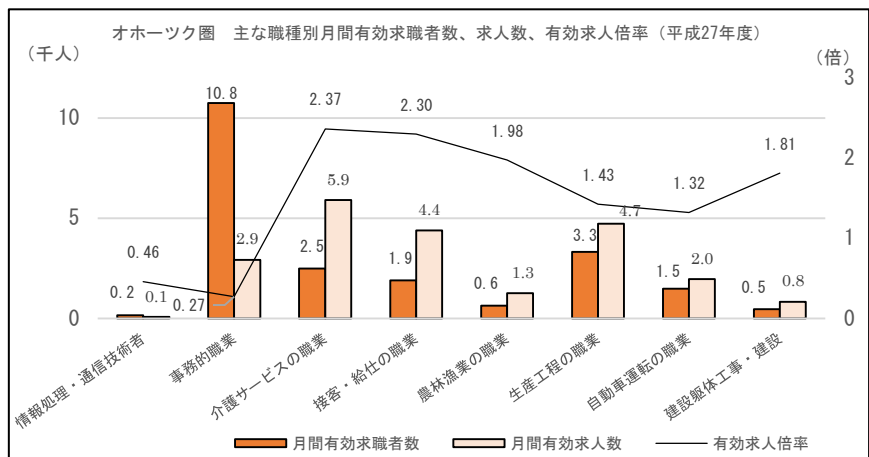


図4-(4)-エ-3

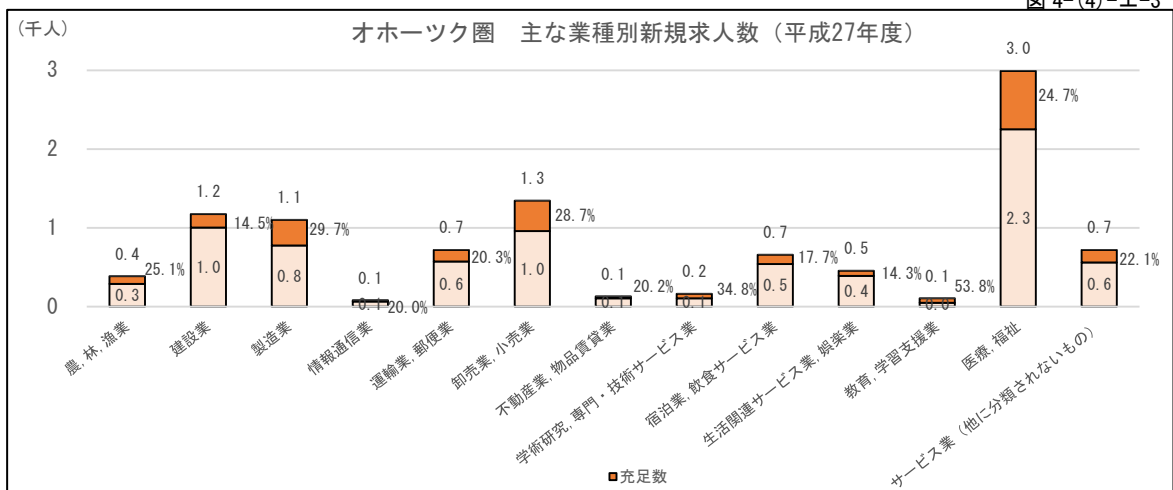


表4-(4)-エ-4

月間有効求職者数 (対前年度比)	2,500 (95.3%)	月間有効求人数 (対前年度比)	2,425 (108.1%)	有効求人倍率 (前年度)	0.97 (0.86)
---------------------	------------------	--------------------	-------------------	-----------------	----------------

オ 十勝圏

平成27年度の新規求職申込件数は、前年度比91.9%の約1万3百件、就職率は前年度から1.8ポイント低下の28.1%となっている。(図4-(4)-オ-1)

平成27年度の主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、事務的職業で、有効求職者数1万6千人に対して、有効求人数が5千5百人で有効求人倍率が0.34倍となっている一方、接客・給仕の職業で、有効求職者数が1千2百人に対して、有効求人数が4千8百人で有効求人倍率が3.31倍、建設躯体工事・建設で有効求職者数が4百人に対して、有効求人数が8百人で有効求人倍率が1.89倍、介護サービスの職業で有効求職者数が2千6百人に対して、有効求人数が4千8百人で有効求人倍率が1.85倍と、職種のミスマッチがある。(図4-(4)-オ-2)

一方、業種別の新規求人では、医療・福祉分野で3千1百人の新規求人があり、充足率は22.5%で未充足の求人は2千4百人となったほか、卸売業、小売業で新規求人が2千4百人、充足率は18.9%で未充足の求人は1千9百人、建設業で新規求人が1千8百人、充足率は13.6%で未充足の求人は1千5百人となっている。(図4-(4)-オ-3)

平成27年度「十勝圏」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)

図4-(4)-オ-1

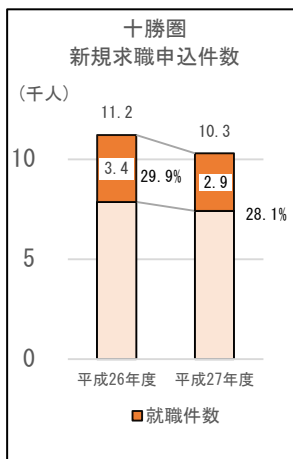


図4-(4)-オ-2

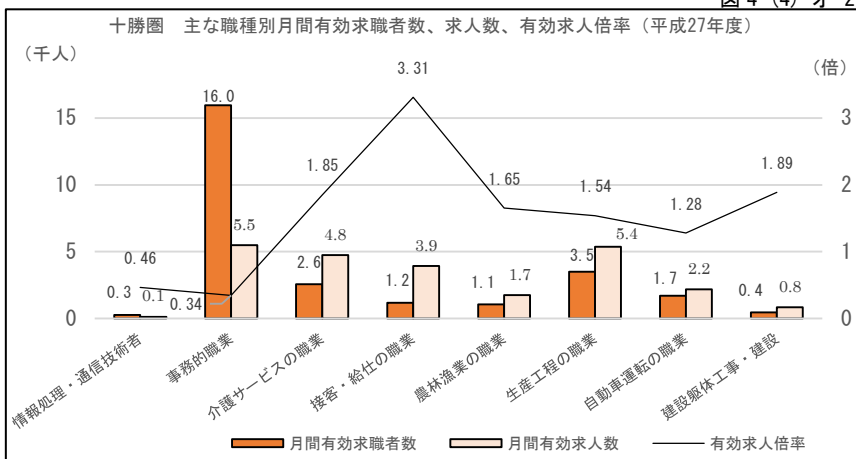


図4-(4)-オ-3

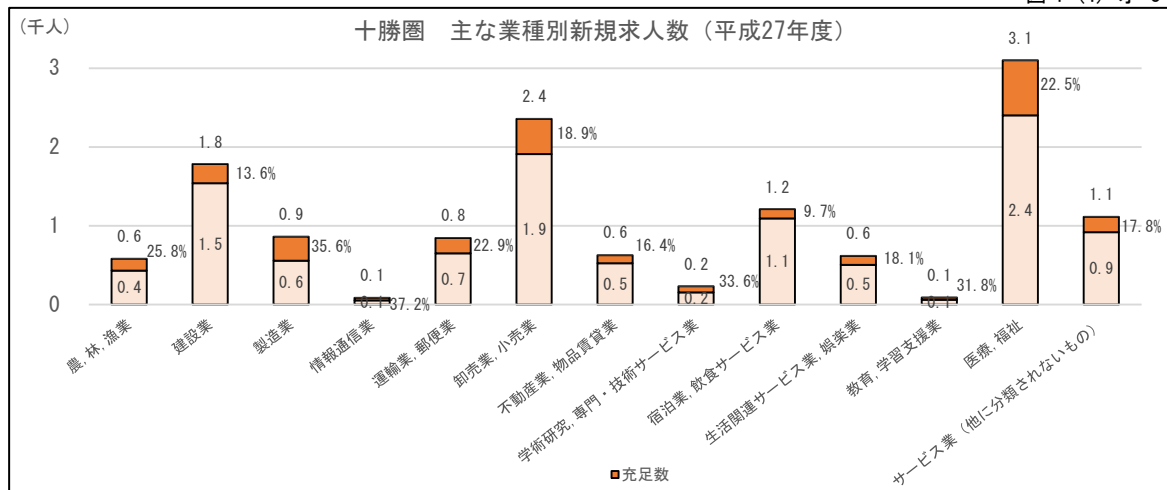


表4-(4)-オ-4

月間有効求職者数 (対前年度比)	3,545 (93.3%)	月間有効求人数 (対前年度比)	3,277 (105.1%)	有効求人倍率 (前年度)	0.92 (0.82)
---------------------	------------------	--------------------	-------------------	-----------------	----------------

カ 釧路・根室圏

平成27年度の新規求職申込件数は、前年度比92.6%の約1万2百件、就職率は前年度から0.1ポイント低下の34.7%となっている。(図4-(4)-カ-1)

平成27年度の主な職種別の月間有効求職者数、求人数、有効求人倍率では、事務的職業で、有効求職者数1万4千8百人に対して、有効求人数が4千1百人で有効求人倍率が0.28倍となっている一方、農林・漁業の職業で有効求職者数が6百人に対して、有効求人数が1千7百人で有効求人倍率が2.84倍、建設躯体工事・建設で有効求職者数が5百人に対して、有効求人数が1千2百人で有効求人倍率が2.62倍、接客・給仕の職業で、有効求職者数が2千人に対して、有効求人数5千2百人で有効求人倍率が2.60倍、製造行程の職業で有効求職者数が3千9百人に対して、有効求人数が7千7百人で有効求人倍率が1.99倍と、職種のミスマッチがある。(図4-(4)-カ-2)

一方、業種別の新規求人では、医療・福祉分野で3千5百人の新規求人があり、充足率は25.7%で未充足の求人は2千6百人となったほか、製造業で新規求人が1千9百人、充足率は23.6%で未充足の求人は1千5百人、卸売業、小売業で新規求人が1千8百人、充足率は23.9%で未充足の求人は1千4百人、建設業で新規求人が1千7百人、充足率は12.1%で未充足の求人は1千5百人となっている。(図4-(4)-カ-3)

平成27年度「釧路・根室圏」の新規求職申込、新規求人数、有効求人倍率等の状況(パート除く常用)

図4-(4)-カ-1

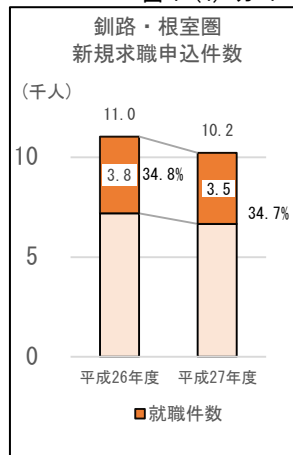


図4-(4)-カ-2

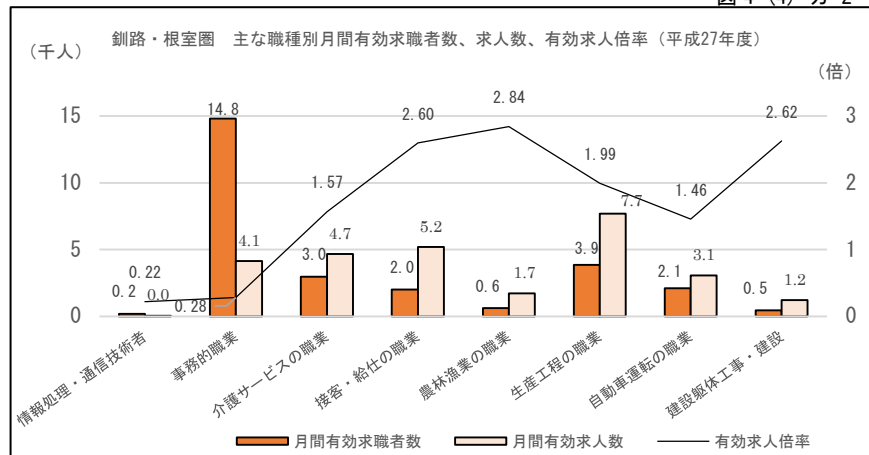


図4-(4)-カ-3

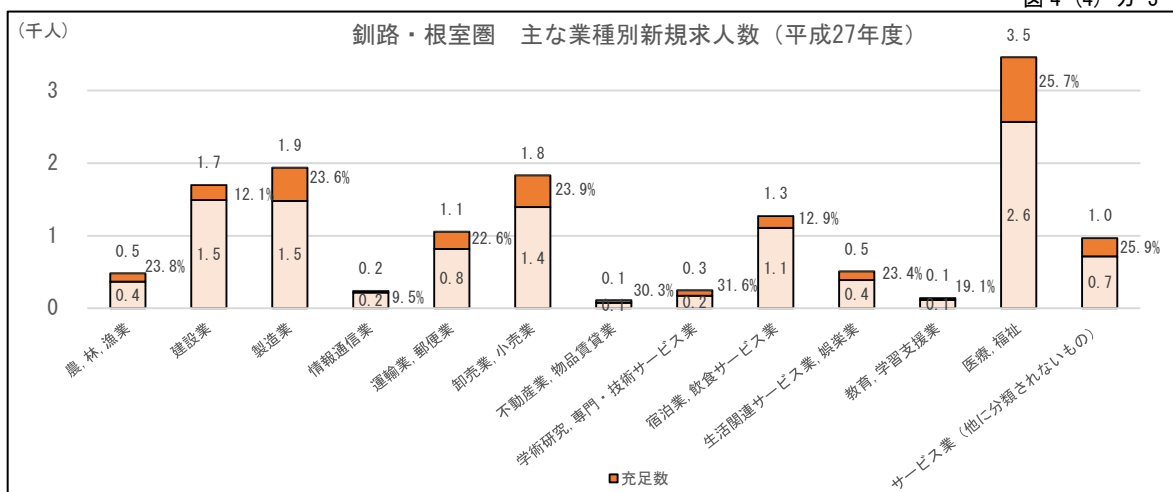


表4-(4)-カ-4

月間有効求職者数 (対前年度比)	3,130 (93.0%)	月間有効求人数 (対前年度比)	3,285 (108.5%)	有効求人倍率 (前年度)	0.92 (1.05)
---------------------	------------------	--------------------	-------------------	-----------------	----------------

キ 各圏域の状況

〈新規求職者、就職率、充足率等〉

人口減少による労働力人口の減少や雇用情勢の改善により全圏域で、新規求職申込件数が前年から低下、新規求人数が前年から上昇している。

半数の地域で就職率が向上する一方で、すべての圏域で有効求人倍率が前年度比1ポイント程度上昇し、人材確保が困難な状況となっている。

このため、きめ細やかなマッチング支援はもとより、求職者の産業理解や職業選択を促すほか、地域における良質で安定的な雇用の場の創出や、企業の働き方改革を推進するなど、求人・求職の両面から、ミスマッチの解消に取り組む。

〈職種別・業種別〉

職種においては、いずれの地域においても「事務的職業」を希望する求職者が多く、有効求人倍率が低くなっている一方、「介護サービスの職業」「接客・給仕の職業」、「生産工程の職業」、「建設躯体工事・建設」などにおいては、いずれの地域においても有効求人倍率が高くなっており、特に釧路・根室圏において「生産工程の職業」が、また、特に道央圏、釧路・根室圏において「建設躯体工事・建設」が高くなっている。

業種別においては、「医療・福祉」分野が、いずれの地域においても最も大きな雇用の受け皿となっており、未充足数も最も多くなっているが、特に「建設業」においては、すべての圏域において、充足率が他の業種に比べ低く、人材確保が困難となっている。

また、釧路・根室圏では「製造業」、十勝圏では「卸売・小売業」「宿泊業、飲食サービス業」、道央圏では「卸売・小売業」、「サービス業（他に分類されないのもの）」、の新規求人件数及び未充足数が多いのが特徴となっている。

このため、こうした業界の人材確保対策にあたっては、地域毎に職種、業種の人手不足の状況をさらに分析を進め、業界や地域毎に状況に応じたきめ細やかな対策を進める。